

法雲寺報

法雲寺
2011/1/1発行
兵庫県美方郡香
美町村岡区村岡
2365

新年もよろしく
お願いいたします

平成二十三年の干支は卯。
本年は兔にあやかっ
き飛躍が出来る一年
となりますように……

町村合併や政権交代と
変化や現状改善の希望
を持って臨んだことも、その実



を身近に感じること無く、
却って以前にまよって混迷
の色を増して居ます。

この村岡を取り巻く状況
も、年毎に活気が薄れ、
空地や空家ばかりが目立
つように思えます。しか
し、これは村岡だけの事



干支絵馬と

延暦寺のお札

絵馬は背面に願い事など
書いて、神棚や仏壇等にお
飾り下さい。本年は「延暦
寺のお札」をお配りさせて
頂きます。

古くなった絵馬・お札等
はドンドの時に出すか、寺
社のお札奉納箱に納めて下
さい。

ではなく、地方の町村で
はどこも同じような状況
なのかも知れません。

かと言って、「地方の活
性化」を自己保身に追わ
れている政治には期待出
来そうに有りませんし、
「地方の衰退」を一番身
近に感じている我々自身
が何か行動を起こし、衰
退に至る流れを変える試
みを考えてみる必要が在
るように思えます。

「但馬七花寺霊場」

法雲寺檀家さんには何度
か説明させて頂きました
が、但馬の七つのお寺で
連携して「七花寺霊場」
を結成しようと準備中
です。(H23/7正式発足・
H24/4開創予定)

お寺は維持運営するに相
応しい数の檀家さんがあ
って初めてお寺として成
立っていくものです。現
在のような地方を取り巻
く疲弊した状況では、や
がては、檀家数激減の現
実に直面する時が来ると
考えます。

各お寺さんでは夫々の立
場でのような時代の変
化に備えて色々と策を練っ

て居られることでしょう。
法雲寺の場合この「但馬
七花寺霊場」への参加が、
その一つの対応策とも言
えます。

「花の寺」と言っても

「但馬七花寺霊場」その
名の通り、「花」を導
入口にして多くの人々に
お寺に足を運んでもら
う」と言う考えなのです
が、法雲寺の場合、如何
せん名物となる「花」が
無いところが弱点です。

勿論、徐々には有りま
すが、花の準備も進めて
居ますが、年中境内を花
いっぱいにするには無
理な話と言うものです。
そうなってくると頼みの
綱は皆さんのご協力(花
木の貸出や作業協力等)
にすぎるしか無いと思っ
ています。

また、花の寺を法雲寺境
内に限定するのではなく、
藩主御廟がある御殿山や
坪谷も飛び地境内的な
ものと見れば、「春の桜に
秋の紅葉の名所」がさら
に加わります。

「花の寺」と言っても
住職一人だけの力ではど

うにもなりません。目指
す所は寺院の活性化と、
地域に幾らかの賑わいを
ご提供出来れば、と考え
ていますので、ご協力・
ご提案等お気軽に声を掛
けて頂ければ大変に有り
難いです。

総代の顔ぶれ決定

任期満了に伴う総代変
更で、左記の4名の方
々が総代に就任して頂
けましたので、ご報告
させていただきます。

*上田

優氏
(会長・殿町)

*山根

福平氏
(副会長・野々上)

*今岡

信正氏
(元総代・鹿田)

*岡田

秀一氏
(元会計・板仕野)

4名の方々には、上記
の「但馬七花寺霊場」の
件も含めて、4年間お世
話になりますが、どうか
よろしく願います。

各種工事修繕のご報告

鬼瓦の交換

昭和57年に檀信徒各位のご協力でご全量置き換えを行った大屋根ですが、鬼瓦をつなぎ止めているクローム製のボルトが酸性雨の影響を受け腐蝕膨張し鬼瓦を圧迫。鬼瓦に亀裂が生じ、そこに寒暖の変化が加わり亀裂が拡大。今すぐ分解落下とい



遠目には大丈夫そうに見えた旧鬼瓦（右）ですが、降ろしてみると可也亀裂（左）が入っていました。



高い足場を組んでの作業となりました（右）。
収まった新鬼瓦（左）さっぱりとしていて、私は気に入っていますが、さて皆さんの評価は・・・

う訳では無いのですが、その対応は避けて通れず、先の11月下旬に交換工事の準備が整い徳山瓦店さんにて施工して頂いました。

今までの鬼瓦に比べてアツサリした印象の瓦ですが、接合箇所も少なく頑丈な印象です。

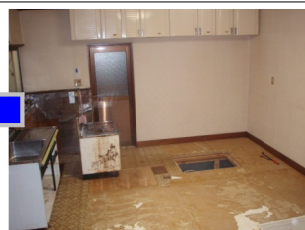
尚、旧来の鬼瓦は使える部品を組合せて、徳山瓦店様の協力のもと、モニユメントとして境内に据えよ

庫裏台所等の修理

うと考えています。

庫裏の改修から約25年。まだまだ大きな傷みには遭遇していませんが、流石に日常的に使用する部分では疲労の兆候が出てきました。特に台所では数年前から、所々床板が緩み不安定な所が出てきました。

板が浮いている所を見つけては、補強をしてきたのですが、緩む所が次から次なので、この度鬼瓦交換の工事と併せて台所の床材張



替え及び、流し台交換をさせて頂きました。また、山門脇塀の支柱根元が水分で腐食していたので、コチフも修繕補強して頂きました。その他細かい修理

多数：今岡工務店様には細かい仕事に関わらず丁寧に仕上げて頂き感謝です。



根元が腐って支柱の役目を果たさず。

木炭のご提供

師走の玄関は寒いもの、年末のご挨拶に來られる方の為にも、玄関の暖を考え、一時ダルマストーブを置いたりしたのですが、壁がススけてしまうので、ココ数年は火鉢で対応しています。



本年は阿瀬徳夫様（新町）から上質の木炭のご提供を頂き、活用させて頂

いています。
夢公社（湯村）と共同で大々的に炭を提供されているとの事。里山の保全と資源の有効活用からも、今後良い炭を焼き続けて下さい。